



Profile

大西食品

優しい笑顔で迎えてくれた大西食品3代目社長大西利明さん。阿南市那賀川町の江野島で昭和初期からこんにやくを作り続けている。また、地元の『江野島地域保全協議会』の一員として、水路や農道などの維持管理や清掃などの活動も行っている。



プリプリでアクが少ないこんにやくを3代に渡って作り続ける

もともと、大西食品では創業当時からサイダーやラムネなどの飲料水を作っていた。しかし、全国規模の大手企業の台頭によって業務を転換し、こんにやくを作り始めた。

昔は、阿南市加茂谷地区や隣町の勝浦町でも、ミカン栽培の端境期に、こんにやく芋を作っていて、大西食品でも使っていた。今では、群馬県産のこんにやく芋を中心に厳選された国産材料を使用している。

商品ラインナップは20種類以上あり、小松島市の『みはらしの丘あいさい広場』を中心に徳島県内南部のJAの産直市や『道の駅日和佐』などで販売されている。中でも、注目を集めているのが、2020年から販売している『竹炭こんにやく』だ。阿南市竹炭製造組合から仕入れた地元の竹炭が使われており、まさに竹林が多い『竹のまち あなん』を象徴する商品だといえる。一見真っ黒でびっくりしてしまうが、もちろん竹炭の味はしない。竹炭がこんにやく特有の臭みを吸い取ってくれ、こんにやく嫌いな人も食べられる。

自社のこんにやく製品のことを話す大西社長は、本当に優しい表情になる。「一度、食べたらおいしいと分かってもらえる」自信を持って、これからもこんにやくを作り続ける。